

3号

稲沢市社協ボランティア・市民活動だより

# あいあい



3月号

アイイ!!!

おおー!!

平成二十年

おーん!!!

おほい!!!

## ボランティア情報 盛りだくさん!!

発行 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター  
〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号 稲沢市社会福祉会館内  
TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666 E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp  
ホームページで読める!! 「あい・あい」 <http://www.inazawa-shakyo.or.jp/>

表紙作品：愛知文教女子短期大学  
専攻科 福祉専攻

酒井 希さん

この稲沢市社協ボランティア・市民活動だより「あい・あい」は、社協会員会費により発行しています。

## 双子のお母さん、あつまれ～



# さくらんぼクラスの しやべり場



1月17日(木)、信竜こどもの森児童館にて双子をもつお母さんの座談会が開かれ、未就園児や就園児、中学生の双子をもつお母さんと、保育士、看護師、助産師など交え、双子をもつお母さんの子育て事情をざっくばらんに話して、聞いて語りあいました。

お母さんがたの感想は、育児書どおりでなく「適当で」いいんだ、と思うことができ、気持ちがあぐらになったとの感想も聞かれました。

双子の子育て中のお母さん、  
興味があれば  
信竜こどもの森児童館を  
のぞいてみませんか?  
☎0587-22-0303



### 保育園の双子をもつ 加藤さん

当時の育児の一生懸命さ・双子の貴重な体験の再確認になったことを感じ、大丈夫だよ、と未就園児のお母さんを励まされていました。



### 保育士の島津先生

がんばりすぎない育児・共感の場をもつこと・お母さんの異世代交流を通して育児を背負い込まないで、とのエール送っていました。



## 子育て 支援の中で 子ども達の笑顔が “おもちゃ箱”の喜び

オリープ児童センター主催で、12月19日(火)にクリスマス会が開かれました。ピエロさんのバルーンショーとペープサート『赤ずきんちゃん』を母親クラブサークル“おもちゃ箱”が執演しました。子ども達は歓声を上げ、瞳を輝かせて大喜びでした。スタップは大忙しでしたが、無事に終わったとき、お互いに顔を見合わせて笑顔が溢れました。

## お助け 車イスドクターズ

車イスドクターズとは、豊田合成ボランティア有志26名の会で、1986年より市内の老人福祉施設、病院(6施設)を毎月1回訪問し、車イスを修理しています。

1月12日(土)、空気入れ持参で介護老人福祉施設「大和の里」を訪れ、故障車イスのブレーキ、緩みなどをあっというまに直して、施設の方々に喜ばれていました。

車イスドクターズメンバーのかたからは、「みなさんからの『使い勝手が良くて、助かります』との言葉が励みになっています」と、うれしそうに話していました。



＜卒業式＞



作・愛知文教女子短期大学 専攻科 福祉専攻 酒井希さん

稲沢市社協ボラセンは  
0587-23-6713です!

新たな出会い

美しい歌とピアノの共演



本誌9月号で取り上げた「視覚障がい者 青山さんのボランティア活動」をみて、市内在住の林佳子さんから「青山さんの歌をピアノで伴奏したい」という問い合わせが事務局にありました。あれから約5ヶ月後、市内施設において青山さんと活動する林さんの姿がありました。

林さんの奏でる美しい旋律に、施設利用者から大きな拍手が沸きました。



▲左:林さん  
右:青山さん



年の瀬の12月22日(土)、稲沢老人保健施設憩の泉に、伊藤孝男先生が、かるたとりボランティアにみえました。

# 伊藤孝男先生 「かるたとりボランティア」 ありがとうございます

## 施設と地域の交流

伊藤先生は、中学校の校長先生という重責にありながら、愛知県かるた協会支部長、東海3県かるた協会支部長を務められ、かるたの普及に尽力されています。伊藤先生が小倉百人一首を読みあげると、入所者の人たちは、我先に取りうと真剣な目で札を探していました。「あつた」という大きな声や、「ほらほらあんたの前にあるがね」という声が聞こえてきました。最後に、入所者の人から「伊藤先生、今年も来てくれてありがとうございます」というお礼の言葉もありました。伊藤先生は、10年前からかるたのボランティアにみえており、「かるたは、目で札を見つめ、探す、耳で読み手の声を聞く、手で取る、山勘で



そろそろこのあたりではないかと頭で予測することが、視覚、聴覚、触覚、脳を適度に刺激して、老人の方の若返りとして役立つのでは」とおっしゃっていました。また、「この小倉百人一首かるたは、言葉の響き(韻律)が美しく、遊びながら古典文学を味わえる」とも話しておられました。

## 輝け! 学生ボランティア! クリスマス会で 大活躍

12月22日(土)に平和町農村環境改善センターで、手話サークル結びの会・くさのみ共催で障がい者のクリスマス会が開催されました。杏和高等学校 JRC 部の生徒がバレーンアートづくりなどのボランティア活動を行いました。参加者の一人は「高校生ボランティアには、また来年も来てほしい」と満足気でした。



▲杏和高等学校 JRC 部生徒

# ボランティアグループ紹介

## はなのき寮支援ボランティア

人と人が出会う ボランティア

はなのき寮支援ボランティアは、愛知県身体障害者療護施設「はなのき寮」の利用者がいきいきとした施設生活が送れるように、喫茶活動・外出支援・音楽療法・絵画教室・習字クラブなどを実施しています。

喫茶活動では、喫茶店の雰囲気づくりをして、利用者にコーヒーなどの飲み物を振舞いいます。この喫茶活動の日を楽しみにしている利用者もいらっしやるそうです。

はなのき寮支援ボランティア会員のかたは、「ボランティア

常に利用者と同じ目線で接することをモットーにして活動しています(代表 渡辺新三郎)



この活動に関する問い合わせは  
TEL 0587(97)9462  
渡辺まで

## 写真ボランティア 伺います!!

地域福祉活動などの撮影に写真ボランティアが伺います。  
心に残る一瞬を、みなさんに…

◆費用 現像代などの実費

## 本誌への取材・ 記事掲載依頼募集

本誌に取り上げてもらいたい!!  
などありましたら、下記までご連絡  
ください。

## 投書募集

本誌への投書を募集しています。  
あなたのボランティアに対する想  
い、意見など、本誌に関すること  
でしたら内容に決まりはありません。  
どしどしご応募ください。

問合先 稲沢市社会福祉協議会

ボランティアセンター

0587(23)6713



本誌のイラストは、学生の松川健太くんが描いてくれました。



発行 社会福祉法人  
稲沢市社会福祉協議会  
ボランティアセンター

〒492-8218

稲沢市西町三丁目 10-24 稲沢市社会福祉会館内  
TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666  
E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp

## 市内の12月~3月までの風景



正月に賑わう国府宮神社参道  
(撮影：稲沢写遊会写真ボランティア)

## 編集後記

本誌を多くのかたに読んでいただけるよう、面白くて、分かりやすい記事を提供していかれたらと思っています。  
今後とも「あいあい」を、どうぞよろしくお願いたします。  
(I・S)